

## 経済産業省 低炭素社会実証モデル事業(公募) 「新型電気コミュニティバスの開発等」事業への着手について

平成21年4月7日  
北陸電力株式会社

「低炭素社会実証モデル事業（経済産業省公募）」の一つとして、当社が富山市と連携して提案した「新型電気コミュニティバスの開発等」事業が採択され、本日（4月7日）、事業に着手いたしましたので、お知らせいたします。

これは、経済産業省が昨年11月から公募した「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」に、当社が富山市と連携して提案した「新型電気コミュニティバスの開発と全国初の路線導入（低床型コミュニティ電気バス1台の開発・充電スタンド設置）」事業が採択され、本日、関係者とともに事業に着手したものです。

**<事業の特徴>** いずれも全国で初めての試みとなります。

**高齢者も利用し易い「低床型」コミュニティ電気バスの開発  
コミュニティバス路線での電気バスの実証運行試験の実施**

(許認可を得られた場合)

今後、富山市と連携しながら、以下の再委託先企業5社とともに、平成21年度中の実証運行を目指し開発してまいります。

**<再委託先企業>**

- ・ジェイ・バス(株) ・(株)東京アールアンドデー ・富山地方鉄道(株)
- ・富山ライトレール(株) ・(株)まちづくりとやま

なお、当社は、これまで「電気バスの開発・運用」で得た知見を活かした技術支援を行うとともに、事業の受託元として、事業の運営管理を実施してまいります。

以上

### 低炭素社会実証モデル事業：

地域社会を支える大学、産業界、自治体等が連携することで「低炭素社会」の構築に必要な技術の地域ぐるみの実証を行い、他の地域へ普及させるという、新たな社会システム構築を目的としたモデルとなる取組みを支援する事業。

- ・事業期間：平成22年3月31日まで
- ・100%委託(補助)事業 / 開発費・労務費等

開発のベースとなる国内唯一の  
低床型コミュニティバス（ディーゼルエンジン）

